

平成 26 年 11 月 17 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

福岡県田川郡川崎町におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、ドイツ saferay Holding GmbH(以下、「saferay」)のシンガポール法人で太陽光発電業者の saferay Pte. Ltd.およびアラブ首長国連邦の再生可能エネルギー投資ファンドである Adenium Energy Capital (以下、「Adenium」)が出資する合同会社が福岡県田川郡川崎町に建設する、発電容量約 20 メガワットの大規模太陽光発電所(メガソーラー)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 26 年 10 月 9 日に締結いたしました。このプロジェクトファイナンスは当行がアレンジし、建設にかかる費用のうち総額約 69 億円を融資するものです。

本事業は、ドイツに本社を持ち、世界中で 700 メガワット以上のメガソーラーの開発・運営実績のある saferay と、イタリア、ヨルダン、そして日本などで合計 200 メガワット以上のメガソーラーに対する投資実績を有する Adenium が共同で実施する、日本におけるメガソーラー事業の第 1 号案件です。福岡県田川郡川崎町の約 36 ヘクタールの用地を活用してメガソーラーを建設し、平成 27 年 5 月の運転開始を目指すもので、発電所の建設工事やオペレーションについても saferay に加え実績のある海外事業者が参加するなど、海外のメガソーラー事業で蓄積されたノウハウや知見が随所に活かされるプロジェクトとなります。また、当行にとっても、国際的な知見を有する外資系プロジェクト関係者を含めて組成する国内プロジェクトファイナンスの第 1 号案件となります。

新生銀行では、第二次中期経営計画における法人向け業務戦略の一環として、再生可能エネルギー事業を重点分野の一つと定め、グループ会社の専門性を活用しつつ、これまでに多数のメガソーラー事業案件に対するファイナンスを組成してまいりました。当行では、再生可能エネルギー事業は、エネルギーの地産地消の推進にもつながることから、今後とも地域活性化につながるプロジェクトを支援してまいります。

【プロジェクトの概要】

事業名称： 福岡県川崎町メガソーラー事業
発電容量： 約 19.8 メガワット
事業主体： Kawasaki Solar 合同会社
スポンサー： saferay Pte. Ltd.、Adenium Energy Capital の運営するファンド
商業運転開始： 平成 27 年 5 月予定

※本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力供給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて九州電力株式会社に売電。

【saferay Pte. Ltd.の概要】

名称： saferay Pte. Ltd.
代表者： Managing Director Dr. Thomas Gnefkow
所在地： 76 Playfair Road, #05-06, LHK2 Building, 367996 Singapore

【Adenium Energy Capital Ltd.の概要】

名称： Adenium Energy Capital Ltd.
代表者： CEO Wassef Sawaf
所在地： Liberty House Tower, Office 918, Dubai International Financial Centre, Dubai, UAE

【融資契約の概要】

借入金人： Kawasaki Solar 合同会社
契約金額： 総額 約 69 億円
契約締結日： 平成 26 年 10 月 9 日
貸付人： 株式会社新生銀行

以 上